

2014年3月7日

新宿区長 へ

法人名 NPO 法人 ACT ART COM 実行委員会
 所在地 新宿区大京町 12-9
 (フリガナ) シタ ユスル
 代表者氏名 理事長 式田 譲

事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業

事業名	Art & Design Fair (アートフェア)、ACT アート 大賞展
実施日時又は期間	アートフェア 2013年6月18日～6月23日 ACTアート大賞展 2014年 1月5日～1月11日
対象者の範囲及び人数	主に現代アートを制作している区民、全国のアーティスト イベント来場者は主に地域住民、アート関係者
事業内容	アーティスト育成支援事業
具体的な活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・アートフェア：2013年6月18日～23日まで、150名の出展者の皆様が作品の展示・販売を行い、来場者数は約2500名にもなりました。会期中は、14名のボランティアの皆様によって運営を行いました。若手のアーティストに発表の場を設けることを主な事業目的としており、フェアを通してたくさんのお客様に作品を見ていただくことが出来ました。また、新宿区に他にこのようなイベントがないため、唯一の存在としての認知も深めることが出来、老若男女問わず地域の様々なお客様にご来場いただきました。 ・ACTアート大賞展：通常展示の難しい大型サイズの絵画作品を100点以上展示し、審査する機会。最優秀賞に選ばれた作家は賞を受け、更なる美術追求を目的にサポートを受けることが出来る。作品は地域の学生から全国まで、美術を志す若い作家から出品され、審査委員には美術大学の教授を迎え、普段講評を聞くことの出来ない評価を受けることが出来る。本展を通じ、全国の若手作家たちは大きな刺激となり、今後の美術に対する育成の場になることを目指している。 出展者数は130名、170点、来場者数は約500名であった。 「審査員」神林章夫様（財団法人神林留学生奨学会理事長） 黒田茂樹様（東洋美術学校・多摩美術大学非常勤講師） 鍋田庸男様（美学校講師） 車洋二様（アートディレクター・kurumaartcontemporary 主宰） O J U N様（東京藝術大学准教授）

事業の成果	<ul style="list-style-type: none">•アートフェア：若手アーティスト達に発表の場を提供することによって、フェアを通して地域の方々や企業の方々と活発な交流が行われている現場が見られました。「地域交流」にフォーカスを当てた結果、出展者数・来場者数・ボランティア数共に過去最大を記録することが出来ました。アーティスト同士、アーティストとお客様、企業団体とアーティストなど、様々な繋がりを作ることが出来たことが大きな成果としてあげられます。•ACTアート大賞展：受賞者のみならず、意欲的な作家が多数おり、展示終了後には審査員に評価や今後の活動についてを伺う姿を目にした。受賞した作家たちはこれから副賞による個展やグループ展などを目指し、更なる意欲向上と成果を目標とする。支援によって本展が活気付き、「美術作家の真剣な態度・行動」を感じる事が出来た。彼らの夢を叶える為の良い機会になった。
-------	--

2 助成対象事業費内訳（実績）

※ 内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

※ 1万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

収入	経費	積算根拠（内訳）		金額
	団体負担金			55,447円
	参加費・資料代等	アートフェア出展費 42,000円×27名=1,134,000円 21,000円×23名=483,000円 団体（1団体）=200,000円		1,817,000円
	その他の収入	出展者作品売上の販売手数料（販売価格の20%） 982,384円×0.2=196,477円		196,477円
	協働推進基金助成金	助成金申請額		40万円
	計			2,468,924円
支出 （助成の対象になる事業費の内訳）	費目	決算額	内訳	
	会議費	999,800円	アートコンプレックスセンター会場使用料（アートフェア） 2階 499,800円 地下 500,000円	
	宣伝費	248,035円	ACTアート大賞展広告掲載費 157,500円 アートフェアカタログ300部 86,300円 ポスター（変形B1ポスター1部、A1ポスター1部 片面印刷）4,235円	
	リース費	0円		
	消耗品費	24,964円	【アートフェア】 「館内見取り図印刷費」9,100円 A3 700部 両面モノクロ 「ASKULで注文」10,069円 お手軽光沢紙(20枚入×2)1,744円・雑巾(10枚)468円 ・インク(P178・1パック)5,680円・サラサボールペン(10本)697円 ・イベント用名札(50枚入り)1,480円 50枚入り 「個別買い出し」5,795円 50枚入りゴミ袋 198円・蚊取線香 980円・ハンドソープ(3個)285円 ・接着テープ(4個)2,352円 4個・エプソンインク(2パック)1,980円	
	謝礼	140,000円	アートフェアボランティア謝礼 3,000円×14人×1~5日間=90,000円(内訳別紙参照) ACTアート大賞展審査員謝礼 10,000円×5人=50,000円	
	人件費	124,000円	4,000円×6人×4~6日間=124,000円（アートフェア・内訳別紙参照）	
	材料費	0円		
	交通費	0円		

	その他諸経費	566,380 円	【アートフェア】 80 円切手 2,400 円 (30 枚)・印紙 2,000 円 (200 円×10 枚)・会場設営費 556,500 円・ゴミ処理券 5,480 円 (2,740 円×2 冊)
	助成対象事業費 (小計)	2,103,179 円	
	余 剰 金	0 円	
	助成対象外事業費	365,745 円	【アートフェア】 ボランティア・スタッフ弁当代 計 32,343 円 レセプションパーティー費用 計 81,369 円 【大賞展】 ACT 大賞展賞金 100,000 円 ACT 大賞展審査員食事代 (ACT カフェ) 10,000 円 リース代 30,000 円 消耗品費 18,833 円 人件費 87,000 円 ゴミ処理券 6,200 円
	事 業 総 額		2,468,924 円

3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた目標について、どこまで達成できたか。	<p>アートフェア：アーティストと来場者の交流は活気があって、アーティスト達を世の中に広く紹介するという目的は達成できたと思う。芸術文化に対するハードルを下げるという目的は、地域の方々に気軽に来場して頂けるようにもっとチラシを配るなど工夫をして行かなければと思った</p> <p>アート大賞展：出展したアーティストの意欲向上には繋がったが、来場者が少なかった所以对策を考える必要があった。</p>
地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。	<p>区役所担当者様ご協力の元、周辺各施設にチラシを置いていただいたり、新宿区の学生や近くに住む方などにボランティアをお願いすることで、イベントの認知度が広がりつつあるのではと思った。認知度が広がることで、地域の方々にイベントに対してより親近感をもっていただけることと思う。</p>
費用対効果は適正であったか。	<ul style="list-style-type: none"> ・助成金を受けたことで、良質な公募サイトに広告を掲載することが出来、出展者の増加や出展作品自体の質の向上に繋がったと考える。 ・アートフェアのカタログは一人一人のアーティストを紹介する内容だったので、来場者の方々により多くのアーティストを知って頂けたのではと思う。
新たに気づいた課題・問題点は何か。また、どのような対策が考えられるか。	<p>「アートフェア」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来場者が増えた分、スタッフとボランティアの事前説明会を設けて、来場者に対してもっと親切な対応ができるような準備が必要だった。 ・来場者とアーティストが交流しやすいように、各作家のブース割を工夫して、固いイメージを減らし、入りやすい雰囲気を作る必要があった。 ・アーティストとの交流会も開き、事業の目的をもっと説明出来たらよかった。 <p>「アート大賞展」</p> <p>アートフェアよりも来場者が少なかったので、地域への呼びかけや掲示板利用などをもっと努力すべきだった。</p> <p>作品が大きいため、作品の運送等の手伝いの人員がもっと必要だった。</p>
理解者や支援者が広がったか。	<p>町内会の掲示板にポスターを貼らせて頂いたことがきっかけで町内会の方々とお知り合いになることが出来た。イベント開催施設の周辺の理解や認知度も少しずつ広がったと思う。</p> <p>ご近所の元画家の方も訪ねて下さり、古い作品を</p>

	寄付して下さるなど地域の方とのふれあいや繋がりも徐々に増えて来た。
事務局の執行体制は十分だったか。	アートフェアは来場者多数だった為、スタッフとボランティアの人数が不足していた。
今回の事業を次年度以降も継続していく場合、助成金だけに依存せず、今後も安定的に事業を継続するための財源確保等に向けた取り組みはなされていたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやチラシに ACT サポーター募集という形で活動をサポートして下さる方々（入会者）を募った。 ・イベントの広告宣伝に力を入れて、出展者増加に努めた。 ・出展作家の方々にもイベント終了後連絡をとり、今後の個展開催のアドバイスなどサポートもするように心がけた。
その他	<p>アートフェア、アート大賞展とイベントを今まで開催して来たが、初めての助成対象事業としての開催だった。助成を受けることがきっかけで、区役所の方々にアドバイス頂き、今までなかなか繋がりが持てなかった地域の方々との関係が増えて来たことが何より良かった。</p> <p>今後も若いアーティスト達を支援していくうえでとてもいい機会をいただいたと思う。</p>

4 活動の成果

冊子、チラシ等別途添付致します。

来場者のご意見

- ・様々なテイストの作品が見ることが出来、とても有意義な時間を過ごすことが出来た。
- ・若い人の作品をもっと見られる機会を増やして欲しい。
- ・これからも新人作家の方達を応援してあげて行って欲しい。
- ・作り手とお話しも出来て、フランクな感じが素敵だと思った。
- ・作品の力があふれていて良かった。
- ・若いパワーに溢れていて楽しかった。また来たい。
- ・素敵な作品をたくさん見ることが出来、楽しい時間を過ごせた。今後の活動も楽しみにしている。
- ・一度にたくさんの作家の作品を観ることが出来て楽しかった。
- ・多彩な表現が一堂に介して面白いです。
- ・会場とイベントが合っていて面白かった。
- ・素晴らしい作品ばかりで感動した。
- ・いろいろな方のココロに触れられた気がした。来て良かった。
- ・何にも似ていない個性を放っていて良かった。
- ・学祭のような熱気とアートの熱気が重なり素晴らしい。
- ・楽しくて発見がある。

事業開催時の写真を次のページで紹介させていただきます。

名称：ACT ART COM -Art & Desing Fair- 2013

会期：2013 年 6 月 18 日(火)-6 月 23 日(日) 11:00-20:00

会場：The Artcomplex Center of Tokyo 全館

主催：NPO 法人 ACT ART COM 実行委員会

出展数：72 ブース、作家約 150 名 / 来場者数：2500 名

◆The Artcomplex Center of Tokyo で行われるイベントのなかでも最大級の賑やかさを見せる ACT ART COM -Art & Desing Fair-。第 5 回目の開催となった同フェアは、過去最高規模・過去最高出展者数・そして過去最高の来客数を記録し、大成功の中幕を閉じた。全 4 日間の来客数は、合計約 2,500 名を記録する。



名称：ACT アート大賞展 2014

会期：2014年1月5日(日)-1月11日(土) 11:00-20:00 / 授賞式1月11日(土) 17:00より

会場：The Artcomplex Center of Tokyo 全館

主催：The Artcomplex Center of Tokyo

共催：NPO 法人 ACT ART COM 実行委員会

出展者数：130名、170点 / 来場者数：500名

◆The Artcomplex Center of Tokyo が主催する S50 号までの平面作品の アートアワード。ACT 館内全部屋に 170 点以上を展示、会期中に審査を行い、大賞受賞者を選出しました。

<会場風景>

